

商品名 ポピドンフィールド10% 添付文書情報

一般名	ポピドンヨード液	薬価	18.60
規格	10% 10mL	区分	
製造メーカー	吉田製薬	販売メーカー	吉田製薬
薬効	2. 個々の器官系用医薬品 26. 外皮用薬 261. 外皮用殺菌消毒剤 2612. ヨウ素化合物		

ポピドンフィールド10%の用法・用量

本剤を塗布する。

ポピドンフィールド10%の効能・効果

手術部位（手術野）の皮膚の消毒。

ポピドンフィールド10%の副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

1. 重大な副作用：
 - 1) ショック（0.1%未満）、アナフィラキシー（0.1%未満）：呼吸困難、不快感、浮腫、潮紅、蕁麻疹等があらわれることがある。
2. その他の副作用：
 - 〔1〕過敏症：（0.1%未満）発疹。
 - 〔2〕皮膚：（0.1%未満）接触皮膚炎、皮膚そう痒感、皮膚灼熱感、皮膚潰瘍、皮膚変色。
 - 〔3〕甲状腺：（0.1%未満）血中甲状腺ホルモン値上昇（T3値上昇、T4値上昇等）あるいは血中甲状腺ホルモン値低下（T3値低下、T4値低下等）などの甲状腺機能異常。

ポピドンフィールド10%の使用上の注意

【合併症・既往歴等のある患者】

1. 本剤に対し過敏症又はヨウ素に対し過敏症の既往歴のある患者。

2. 甲状腺機能異常のある患者：血中ヨウ素の調節ができず甲状腺ホルモン関連物質に影響を与えるおそれがある。

【小児等】

ポビドンヨード製剤を新生児に使用し、一過性甲状腺機能低下を起こしたとの報告がある。

【臨床検査結果に及ぼす影響】

酸化反応を利用した潜血試験において、本剤が検体に混入すると偽陽性を示すことがある。

【適用上の注意】

1. 薬剤使用時の注意：

- 1) エタノールによる刺激作用を有するため、損傷・創傷皮膚及び粘膜には使用しないこと。
- 2) 大量かつ長時間の接触によって接触皮膚炎、皮膚変色があらわれることがあるので、溶液の状態で長時間皮膚と接触させない（本剤が手術時に体の下にたった状態や、ガーゼ・シーツ等にしみ込み湿った状態で、長時間皮膚と接触しないよう消毒後は拭き取るか乾燥させるなど注意する）。
- 3) 眼に入らないように注意する（入った場合には水でよく洗い流す）。
- 4) 石けん類は本剤の殺菌作用を弱めるので、石けん分を洗い落としてから使用すること。
- 5) 電気的な絶縁性をもっているので、電気メスを使用する場合には、本剤が対極板と皮膚の間に入らないよう注意すること。
- 6) エタノールを含有しているので、電気メスを使用する場合には、本剤を乾燥させ、エタノール蒸気の拡散を確認してから使用すること。特にドレープ（覆い布）等の使用時には、本剤が液状として残ったり、ドレープ下に気化したエタノール蒸気が充満することで、引火しやすくなるおそれがある。

【取扱い上の注意】

直射日光を避けて保存すること。

【保管上の注意】

室温保存。



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『 DIR 』